

一項の口構成団体間に於ける融和と協力の緊密化に及するところ夥まかりずあつたのである。しかし乍ら全勞並に東電の結成大會に於ける帝國主義戰爭絶對反對、フアン・シヨ粉砕の案を強ひて提案せんとする思想的（左翼的）意義に就ては、政争の本質を見透してゐる我々に於ては（左翼的言辭を用ふるも總聯合より入して右翼といふ程のものでもなく、また實質的には、總聯合よりソフト機軸にも實団体とあるといふ見透しが付いてゐるといふ意味）餘り問題にせずまア一種の善美を以つて黙殺する程度で充分と考へられるのであるが、一轉して日本の統一戦線の夫状を見る時、この日本の労働組合運動の長きに亘る分裂状態は、實にかゝる空虚なる右翼的言辭と非友誼的態度によつて乱され來つたのである。それ故にかゝる卑劣なる行動こそが、我が國無産階級解放の統一戦線樹立の最悪の敵であると云ふ事と出来るのである。

かゝる事情の下に造船聯盟は、その平素把持せる主張とその立場のために脱退の止むべきに至つたのである。だが我々としては造船聯盟が脱退する事びく相共に健全なる労働組合同主義確立のために戦ふ事を望むたのである。けれども事情遂に訣別するに至ればまた止むを得ないのである。しかし乍ら我々は造船聯盟の事情を瞭解し、今後と友誼と協力はどこまでと持續し努むる方針である。

かくの如くして造船聯盟は遂に脱退したのであるが、總聯合は特殊の事情發生せぬ限り脱退せぬ方針である。それは現在の労働組合會議は、必ずしも満足すべきものでない、然し乍ら現在の日本の労働組合の統一戦線の夫状から見、また過去の長きに亘る苦々統一戦線の実績から見て、日本労働組合會議を支持する事が、日本の労働組合統一の捷徑だと信ずるからである。既に捷徑たる以上、これが發達を期し、その障害とする最悪の敵を粉砕することが我々に與へられたる當然の任務と信ずるとのである。

總聯合の國家主義に就いて

いつの頃からか、總聯合は國家主義的の労働組合であるといふ我々と別段に差支のない事だから及敵したることとなければ、どこさらに及敵したることとない。しかしどこさらに國家主義労働組合同主義と名乗り出た敵ではないのである。然らば總聯合の國家に